


広報大洲 きらめき創造 大洲市
—みとめあい ささえあう 肱川流域都市—

2011
No.82

11

大洲



大洲市中学生海外派遣事業

大洲市を担う人材育成を目指して

大洲市中学生海外派遣事業

大洲市では、21世紀を担う市内の中学生を対象に、「大洲市中学生海外派遣事業」を平成10年度から実施しています。

国際化時代にふさわしい人材育成を目的に実施している海外派遣事業に、今年度は市内7校、12人の中学生が参加しました。



出発式の様子



帰国報告会

平成23年度 大洲市中学生海外派遣日程

7月29日(金)	出発式、松山空港から関西空港へ 関西空港でオーストラリア行きの便にトラブル発生 関西空港近くのホテルで宿泊
7月30日(土)	搭乗予定便の修理のため、引き続きホテルにて待機 関西空港近くのホテルで宿泊
7月31日(日)	関西空港発、オーストラリアのケアンズへ出発
8月1日(月)	ケアンズ着、その後空路にてブリスベンへ移動 ブリスベンからゴールドコーストへバスで移動 受け入れ校オリエンテーション、ホームステイ開始
8月2日(火) ↓ 8月5日(金) および 8月8日(月) ↓ 8月9日(火)	大洲市中学生のための研修プログラム ・英会話クラス(午前×6日間) ・一般授業参加(午後×6日間) ・交流授業 ・キャンパスツアー ・ホストファミリーとの交流 ・さよならパーティー
8月6日(土)、7日(日)	ホストファミリーと過ごす
8月10日(水)	ホストファミリーとお別れ ウォークラリーツアー・ゴールドコースト市内観光
8月11日(木)	ゴールドコーストから関西空港へ
8月12日(金)	バスで伊丹空港へ移動し、松山空港へ、帰国報告会

もう一つの家族



大洲南中学校 兵頭 瑞希さん

不安な私に、会う人みんなが笑顔で話しかけてくれて、第一印象は最高でした。

オーストラリアでは、英語研修、スポーツ、買い物実習など、貴重な体験をすることができました。

ホストファミリーのファミリー家のみなさんも、私を毎日楽しませてくれました。

オーストラリアでの2週間は、私の一生の宝物です。ただの楽しい思い出で終わらせないためにも、これからも英語学習に努め、何でも積極的に取り組んでいきたいです。



大洲南中学校 藤枝 恭平さん

ホームステイでは最初は戸惑い、気持ちをうまく伝えられませんでした。最後は笑いながら話すことができました。

ホストファミリーとは一緒に散歩したり、料理を作ったり、ショッピングに行ったりと、僕にとってはまるでもう一つの家族でした。

毎日通ったスクールでもみんなが親切で、とても楽しく過ごすことができました。

オーストラリアは、どこまでも青く澄んだ大空が印象的で、とても充実した毎日でした。この2週間は、僕の一生の宝物です。



大洲北中学校 上田 友香さん

オーストラリアに行つて特に楽しかったのは、現地の人と交流したことです。

最初は英語で何と言ったらいいのか分からず困りましたが、現地の人と話しかけてくれて、とても嬉しかったです。ホストファミリーも親切でした。現地の人とコミュニケーションがとれるのが楽しくて、この日がずっと続けばいいなと思いました。

海外派遣で一緒に行った生徒の3家族で夕食を食べ、仲良くなれたことも私にとって大きな収穫でした。



大洲北中学校 奥島 穂さん

この派遣は私にとって、忘れられない一生の思い出となりました。

ホストファミリーはとても親切で優しく、私が聞き取れなかった英語も、自分たちの日本語の勉強になるからと英和辞書で調べてくれました。また、生活習慣や食事の違いなども無理をしないよう気遣ってくれました。

学校での授業は課外授業が多く、とても楽しいものでした。友達になった子とは、今でもメールで交流を続けています。

海外派遣での経験を、今後の生活に役立てていきたいと思えます。

文化交流

大洲北中学校 徳石充哉さん

現地に着くと、ホストファミリーが温かく迎えてくれましたが、僕は上手く話すことができませんでした。そんな僕にホストファミリーは分かりやすい英語で接してくれたため、徐々に緊張もほぐれ、英会話に慣れることができました。

学校は、ホームステイ先の12歳のジョッシュと同じ学校だったので、一緒にバスで通学しました。

休日にはいろいろな場所に連れて行ってもらいました。オーストラリアの大自然に触れたり、初めてラグビーをするなど、今回の派遣はかけがえのない貴重な経験になりました。



肱東中学校 藤方雅乃さん

帰国して実感したことは、「本当に行って良かった」と心から思えたことでした。

オーストラリアでは、驚きと感動の連続でした。空がすごく広く感じたり、食べ物がおいしかったりと、自分にとって嬉しいことばかりでした。

ホームステイでは、家族と過ごすことが出来ました。

貴重な機会をいただいたことに感謝し、この経験をこれからの私の生活に生かしていきたいと思えます。

新谷中学校 上田 遼さん

最初は、期待とともに緊張していましたが、ホストファミリーがとても温かく接してくれたので、すぐに慣れることができました。

英語には自信がありませんでしたが、ジェスチャーでコミュニケーションがとれ、オーストラリアの生活様式が理解できました。

海外派遣を通して、英会話の学習ができたことはもちろん、外国の人たちと交流することの素晴らしさを学ぶことができました。また、外国の文化を知ることが、改めて故郷の良さを確認することができて、本当に良かったです。



新谷中学校 鈴木孝哉さん

オーストラリアに到着すると、海、空、そして強い日差しが目に入り、飛び込んできました。夜には満天の星が光り、南十字星が見えて感動しました。

ホームステイは言葉や習慣の違いで不安もありましたが、僕に気を遣ってゆっくりと話してくれました。僕の英語が相手に伝わることに嬉しかったです。実際の英会話では、相手の気持ちが理解できないと会話ができないことも分かり、僕の目標である恥ずかしがらずに会話することができました。

もう一つの日本文化を伝えるという目標では、夕食でお寿司を一緒に作り、「おいしい」と言ってもらえて嬉しかったです。

この経験をこれから自分の将来に生かしていきたいです。

成長への誓い



長浜中学校 宮下 和也さん

オーストラリアに到着すると、ホストファミリーに笑顔で迎えられ、それまでの不安は一瞬で消えてなくなりました。

現地では生の英語の授業、パソコンや買い物実習を受けました。特にラグビーやバスケットなどの交流が楽しかったです。

ホストファミリーには水族館やプロのラグビーの試合に連れて行ってもらい、忘れられない時間を過ごしました。

今回、異国の文化に触れ、世界基準の考え方やエコロジーの大切さを学ぶことができ、忘れられない最高の体験になりました。



長浜中学校 山口 真由さん

一番嬉しかったことは、外国の友達ができただけです。文化や言葉が違い、戸惑いもありましたが、積極的に話しかけることができました。生活の中で、少しですが相手の英語が徐々に理解できるようになりました。

学校の授業では、現地の先生に絵や写真を使って分かりやすく教えてもらいました。

ホストファミリーも優しく接してくれて、オーストラリアの大自然を体験することができ、貴重な経験ができました。海外派遣事業は、私にとって一生の思い出となりました。



肱川中学校 堀 縁さん

学校での授業は、最初は英語についていくことが大変でしたが、相手に伝わるように自分なりに頑張ってみたら、少しずつ理解できるようになり、とても自信がつきました。

ホストファミリーは本当にやさしく、充実した毎日を過ごすことができました。日本と違う文化を勉強することができました。今回の出会いをこれからも大切にしていきます。

オーストラリアの経験により、考え方や視野が広がりました。この経験をこれから生かしていきたいと思えます。



河辺中学校 寺谷 文花さん

オーストラリアでは、学校に通ったり、ショッピングに行ったり、いろいろな経験をしましたが、その中でも特に印象に残っているのが、休日にホストファミリーに連れて行ってもらったサーファーズパラダイスです。そこは立ち並ぶ高層ビルと青く澄んだ美しい海が広がっていて、とても心が安らぎました。

今回の海外派遣で、文化や習慣、言葉の違いを肌で感じる事ができました。通訳という自分の夢に向かって、これからもっと努力していきたいと思えます。

経験を将来の夢に



「海外派遣に参加して」

大洲南中学校

校長 山口雄三

私は、これまで海外派遣事業の引率を経験された先生から話を聞いても、イメージがわかず、不安を持っていました。

7月29日に出発し、関西空港までは順調でしたが、飛行機のトラブルで2日間、近くのホテルで待機となったため、一層不安な気持ちが強くなりました。

しかし、31日の夜、出発してからは順調でした。オーストラリアでの10日間は天候も良く快適でしたが、その気候は日本とは逆で冬でした。朝晩はやや肌寒く10度く

らいでしたが、日中は20度くらいまで気温が上がリ、湿度は低く、とても過ごしやすい気候でした。

生徒たちは、毎日、ホームステイ先から広い森の中に建物が点在する素晴らしい環境に包まれた学校に通いました。午前中は指導熱心なジョージ先生の授業を受け、午後からはスクールバディと一緒に教室で授業を受けました。生徒たちは英語の中で生活し、オーストラリアの文化や習慣、日本との違いを感じ取ってくれたと思います。生徒のほとんどが、「まだいたい」と言った言葉に、今回の成果が表れているように感じました。生徒たちには、ぜひこの経験を多くの人に伝え、自身も将来の夢につなげてほしいと思います。

今回の海外派遣で、8月12日に全員無事に帰国できたことに、私は嬉しく思いました。

また、この事業に多くの支援をいただいた大洲市や椋山教育振興会、細かなところまで配慮していただいた大洲市中学生海外派遣推進協議会の皆様に感謝しています。本当にありがとうございました。

「中学生海外派遣事業を終えて」

大洲南中学校

教諭 高木健司

私が滞在したホストファミリーは、両親とその娘3人の家族でした。昔の日本の家庭のように、父親には威厳があり、子どもたちは父親を尊敬しているという理想的な家族でした。といっても父親は家事をしないというわけではなく、例えば食器洗いは曜日によって担当が決まっていて、当然、父親もそのメンバーに入っていました。朝食後の忙しい時間帯は、各自が自分の食器を片づけますが、ここでも父親は例外ではありません。週末はバーベキューをすることが多いのですが、買い物から準備、調理まで父親が担当していました。こういった家庭のルールの中で、お互いが尊敬できる関係にあるのだと実感することができました。

私たちが研修したメリマック州立小学校では、体験を重視した教育活動を実践していました。オーストラリア固有の動物について学習した後、動物園に出向き、実際に動物たちを観察したり、お金について学習した後は、ショッピングセンターに行つて買い物体験したりするなど、学んだことを体験することで、確かな習得につなげる方法が採用されていました。とりわけ今回、英語の授業を担当してくれたジョージ先生は、彼自身がカナダ出身ということもあり、人一倍オーストラリアの文化を勉強していて、私たちと同じ視点で異文化を教えていただきました。

この海外派遣事業では、引率教員もホームステイすることができ、私にとつてもたくさんメリットがありました。この研修で学んだことを学校で生徒たちに還元することが、お世話になったみなさんへの一番の恩返しになると思っています。

私たちが研修したメリマック州立小学校では、体験を重視した教育活動を実践していました。オーストラリア固有の動物について学習した後、動物園に出向き、実

